

日本物理学会領域 2 運営会議 議事録

日時: 2015 年 3 月 22 日 (日) 12:00-12:35

場所: 早稲田大学早稲田キャンパス AP 会場

司会: 領域 2 代表 齊藤輝雄

書記: 領域 2 役員 本多充

出席者: 約 40 名

報告事項

1. 2015 年 4 月からの新役員体制 (主に代表と副代表の交代について) について報告があった。
2. 2015 年 10 月からの新役員候補者について報告があった。
 - 新役員候補 3 名が、新役員として拍手で認められた。
3. 若手奨励賞 (第 9 回 (2015 年)) 受賞記念講演について報告があった。
4. 2015 年 3 月第 70 回年次大会講演数について報告があった。
 - 今年会は 171 件の講演 (ビーム物理と合同の 30 件が入っており、若手賞講演は省かれている。)
5. 登壇者の交代への対応について報告があった。
 - 年次大会と秋季大会で一人の人が登壇できる回数が異なる。事務局に確認後、ML で周知する。
6. 講演概要集の電子媒体化について報告があった。
 - 1 人 1 件のアクセス権の購入の徹底が周知された。
 - 紙媒体のままのフォーマットだと必要以上に文字が大きくて見づらい。今後要検討。
7. 学生優秀発表賞の応募数などについて報告があった。
 - 応募総数 26 件。
8. 2015 年 秋季大会 招待講演・シンポジウムの提案 (各 1 件) について審議を行った。
 - 登壇者とその共著者が近年まとまった形で成果を発表した (論文発表した) ものが招待講演として適格となる。
 - 当該招待講演を領域 2 として推薦することについて、拍手で認められた。
 - 当該シンポジウムを領域 2 として推薦することについて、拍手で認められた。
9. APS/EPS 招待講演推薦手順の変更について報告があった。
 - one voice 推薦の効果が出ていないとして今後は行わない一方、推薦人の準備に対する手助けを行うこととする。
10. 第 10 回 (2016 年) 若手奨励賞選考の予想スケジュールについて報告があった。
 - 6 月号くらいに募集記事掲載、締切 7 月末日、8-9 月に審査・理事会に推薦、10 月の理事会で受賞者決定。3 月に受賞記念講演。
 - 資格は物理学会会員であることと、2016 年 4 月 1 日時点で 39 歳以下。
11. 領域 2 から推薦した日本物理学会論文賞は受賞を逃したことが報告された。

- 受賞論文は計 5 編。一番古い論文で 2005 年出版だった。
- 12. 日本学術会議インフォーマルミーティングの案内があった。
 - 3 月 22 日 12 時半-13 時半 AN 会場
- 13. 拡大物性委員会の案内があった。
 - 3 月 22 日 18-20 時 AA 会場
 - 年次大会では 2 日目、秋季大会では初日に開催
- 14. その他の報告があった。
 - 英語での講演スライド作成推奨が今後検討される予定
 - 年次大会の後に西暦が入るようになった。
 - AAPPS-DPP 関係のメールが参考情報として領域 2 の ML に配信されるようになる。
- 15. AAPPS-DPP の活動報告が菊池氏よりあった。
 - DPP に次いで、DACG が第 2 号として設立された。
 - 次回学会は AAPC-13、2016 年 12 月に豪州ブリスベンにて。
- 16. 代議員会の報告が菊池氏よりあった。
 - 会費が値上げされるとのこと。
 - 会員数の漸減が問題になっている。
 - 英語のウェブページの充実が待たれる。

以上